

一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を、
肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ
シリーズ NO 51

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来15年間、毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3000回を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前での様々な市民との出会いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

憲法前文を「私」で読んでみると



今朝の駅立ちは、夜来の雨が降っていることや、今日と明日2日間にわたり「第10回

全国政策研究集会2018 IN 沼津」に参加するため中止した。

静岡県沼津市の会場に着いたのは、東京駅から新幹線三島駅へ、更に在来線を乗り継ぎ沼津駅に、徒歩で午後12時30分頃。

午後12時50分から開始されたが、基調講演の「日本一分かりやすい憲法のはなし」と題して谷口真由美大阪国際大学准教授・全日本おばちゃん党代表代行の話が大変興味深かった。

日本国憲法の前文は有名だが、その中に「国民」「われら」「自国」との表現を一人称の「私」に置き換えて読んでみると全く、他人の憲法を主権者として受けとめざるを得ない、と指摘。

以下前文を「私」で表現すると。

「私は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、私と私たちの子孫のために、諸国民との協和による成果と、私たちの国全土

にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こる事のないようにすることを決意し、ここに主権が私に存することを宣言し、この憲法を確定する。

そもそも国政は、私の厳粛な信託によるものであって、その権威は私に由来し、その権力は私の代表者がこれを行行使し、その福利は私がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、その憲法は、かかる原理に基づくものである。私たちは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

私たちは、恒久の平和を念願し、人類相互の関係を支配する崇高な理念を深く自覚するものであって、平和を愛する諸国民の公正と正義に信頼して、私たちの安全と生存を保持しようとして決意した。私たちは、平和を維持し、専制と隷属、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようとして努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。私たちは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

私たちは、いづれの国家も自国のことのみ専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従うことは、私たちの国の主権を維持し、他国との対等関係に立とうとする各国の責務であると信じる。

私たちは、国家の名誉にかけ、全力を上げてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う。」

どうだろうか、一市民として主権者としてこれほどの責任を果たさなければならない、これが憲法の規定するこの国の形であり、これを立憲民主主義の観点からさらに深めて行く、場が必要とされている、と痛感した。

翌日沼津市から越谷に帰って来た夜には、上間久里東自治会主催の夏祭りに参加した。

例年開催されており、毎回参加させて頂いているが、今回は、立派な演台の上で、ドジョウ掬いやフラダンス等が披露され、地元の家族連れを始め市民に皆さんが楽しんでいた。



(8月24日)

(裏へ)

ムクドリ対策 その後のその後



今朝の駅立ちは、せんげん台駅東口で、午前5時20分から開始したが、この間娘が帰省しているので、通常より少し早めに自家用車を運転して、自宅を出て駅付近に駐車。

その後街宣用具を運びだして設定し、最寄りの有料駐車場

に一旦駐車した後、市政レポートの配布となった。

まず、駅周辺の清掃作業を通常どおりに行ったが、朝から日差しが強く途中で麦わら帽子をかぶったが、汗が止まらない。

先般来、駅前広場のムクドリ対策を行政に対応して頂いていたが、警告音を発する機械の設置に続いて、木立の剪定が実施された。

これで完全にムクドリは近づけない状態となった。

しかし、同時に大量のムクドリたちは、一体どこに行ったのだろうか。確かに鳴き声や糞が市民生活に支障を及ぼしているのは事実だが、ムクドリたちの生息圏を奪ったのも市民に他ならない。共生への道はないのだろうか。

越谷市中央市民会館3階の給水器の故障に関して、陳情を受けて市民活動支援課長さんに善処をお願いしていた。

そもそも、この建物は越谷市の所有なのだが、その運営、管理を民間団体や会社に委託する、指定管理者制度を適用し、施設管理公社が請け負って来た。

何故指定管理者とするのか、民間のノウハウを採用して行政では出来ないサービスの提供をうたい文句にして来た経緯がある。

つまり、最低でも旧来のサービスを維持しながら、さらにきめ細かいサービスを提供することを目的として来た。

この観点からは、酷暑が続く中、3か月にもわたり給水が出来ない状態の中、代替措置さえ取ってこなかった責任は大きい。

このため課長さんの話では、1階、2階、3階の給水器は一体型で、しかも使用が禁止されているフロンガスを使用した古いタイプのもの



のであり、全面的に取り替えるのか、3階だけ別の型を設置するのか、その費用は市負担か公社負担か等、市と公社が協議した。結果、全面的に取り替えることで、結論が出来て近く工事に入る、との返事だった。

直ぐに疑いをかけてしまう大人とは

善処して頂いたのは、ありがたいのだが、すでに猛暑日は去ろうとしている。(8月27日)

今朝の駅立ちは、せんげん台駅西口で、午前5時20分から開始。28日から3日間にわたり私が代表をしている議会の会派自治みらいの駅頭市政報告会が各駅で実施しており、今日は最終日となった。

自治みらいの駅頭は、午前7時から開始なので、その前の時間帯は私の市政レポートを配布した。午前5時過ぎに駅に到着したら、若者の集団(男子5人、女子2人)が、歩道に座り込み話をしていた。

しかし、その内の男性は酩酊しているのか、駅構内のスペースに大の字で眠り混んでいる。近くにはゲロが吐かれていた。(この男性のものかどうかは不明だが)

1時間近く、自転車に乗ったり、バラバラになったりして駅周辺にいたが、パトカーとともに制服警官が4人も近づいて来て、この集団の一人一人と話し込んでいた。酔って眠りこんでいたので注意しに来たのでは、と当初思っていた。また、全員に氏名と住所を書かせているようだったので、自転車の窃盗なのかとも思っていた。

警官が立ち去った後、男性達に事情を聞いて見た。すると少年をいじめていると通報があって、全員に事情を聞かれていた、とのこと。

勿論そんな事実はない、と断言して不服そうな話しぶりだった。(事実無根なら当然)

高校生ですか、と尋ねたらもう働いているし、高校生もいる、との返事だった。

幾つに見えますか、と尋ねられたので16歳か17歳位かなーと答えたら、納得したようなしないような顔つきだった。(8月30日)